

Truth 2021 Winter

contents

2 特集1 企業・団体等と連携した実践的な学び

5 卒業生からの便り

6 特集2 大学院での専門的な学び

8 研究室の扉

10 Topics

ヴァーツラフ・ハヴェルのベンチ除幕式を挙げる
学生応援企画『100円ランチ』を実施
人文科学研究科心理学専攻の修了生5名が公認心理師試験に合格
本学学生が『東南アジア青年の船』青年会議所に日本参加青年のリーダーとして参加
広島県日韓スピーチコンテスト2度目の大賞受賞
広島県通訳案内士に合格
【サッカー部】長井響さんがガイナレ鳥取に入団内定

12 受賞報告

13 Campus News

17 修大人

18 Circle Information

20 刊行物

21 Event Guide

22 Campus Photo Message / アンケート



●表紙撮影場所：図書館

現在の図書館は2003年に竣工し、約90万冊の蔵書があります。
ゆとりある設計の館内は全面ガラス張りです。心地よい空間となっています。2004年には第20回日本図書館協会建築賞を受賞しました。

「TRUTH」—そのネーミングの由来—

Since 1972

Truth 真理・真実・真相
Rapidly 速く
Universally ひろく
Thoughtfully 思慮深く
Honestly 誠実に

大学広報誌のめざすべき、
真理・真実・真相をできるだけ速く、ひろく、しかも思慮深く、誠実に伝えることをモットーとして、ここに「TRUTH」が生まれました。

道を修める

「修道」という名は、古典の一つ『中庸』の「天命之謂性 率性之謂道 修道之謂教」（天の命ずるこれを性といい、性に率うこれを道といい、道を修めるこれを教えという）に由来します。この意味は「人間にはそれぞれの天性がある。天性を伸ばすのが人間の道である。その道をしっかりとしたものにするのが教育である。」という意味に解されます。「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材の養成」を理念、教育目標として掲げ、その精神をもとに、広島修道大学はさらに未来をめざします。



広報誌「TRUTH」は、春・夏・秋・冬と年に4回発行し、保証人の皆さまにもお送りします。本誌へのご意見などありましたら、下記までお寄せください。本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。



広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



UNIVERSITY
ACCREDITED
2019.4 - 2026.3
大学基準協会
大学評価 認定マーク

Truth 2021 Winter

Hiroshima Shudo University

特集

- ① 企業・団体等と連携した実践的な学び
- ② 大学院での専門的な学び

- 卒業生からの便り
- 研究室の扉
- Topics
- 受賞報告
- Campus News
- 修大人
- Circle Information
- 刊行物
- Event Guide
- Campus Photo Message
- アンケート

広島修道大学

通巻第213号 2022年1月28日発行 広島修道大学広報誌

特集 1 企業・団体等と連携した実践的な学び

広島修道大学は、地元経済界の要請を受け、広島地域の発展に貢献する人材を育むことを教育の使命として発足し、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材の養成」を理念、教育目標として掲げています。これまでに7万人を超える卒業生を輩出し、世界や地域で多くの卒業生が活躍しています。

本学は、地域にイノベーションを起こす人材を育成するため、地元企業や団体などと連携した実践教育を展開しています。現在、幅広い分野において相互に連携協力を行う包括的連携協定を20の企業・団体と締結し、その他、地域の企業・団体、卒業生等、多くの方に授業やインターンシップ等、学内外でご協力いただいています。

これらの各業界で活躍する方による実践的な講義や現場体験は、学生たちの学びをより深めるとともに、今後のキャリアデザインを考える良い機会となっています。

今回は、学内での講義を中心に、各学部で行っている企業・団体等と連携した実践的な学びを紹介します。



商学部 × 金融機関 「C2群特殊講義a(金融実務II)」



中四国九州の信用金庫の中で最大規模を誇る広島信用金庫から、預金・融資・決済業務だけでなく、顧客管理・リスク管理・M&A業務や企業支援業務にも携わっている職員の方々を招き、金融業務の社会的役割、実際の流れなどを学ぶ授業です。商学部の授業で学んでいる金融に関する理論が実際の金融機関においてどのように適用されているのかを知ることは、文献学習にとどまらない貴重な知識を得られる良い機会となります。

その他の授業例

商学科・経営学科 「A1群特殊講義a(新商品開発入門)」…食品メーカー
「海外ビジネス研修」…観光業(中国大連市の企業、支社等)

商学科 「B2群特殊講義a(理論と実践の観光学)」…観光業

経営学科 「C2群特殊講義a(中小企業ビジネス講座)」…中小企業大学校

POINT

- ・実務に精通した信用金庫職員の方々による講義
- ・地域金融機関の社会的役割と実務に関する理解を深める

人文学部 人間関係学科社会学専攻 × 警察 「社会安全政策論特殊演習」

広島県警察本部の方に講師を務めていただき、社会安全政策について学びます。社会安全政策とは、個人の暮らしのための社会的基盤を、犯罪を典型とする人間の反社会的行動から守る(犯罪等を統御・制御する)ための政策です。前期に開講されていた「社会安全政策論」の講義内容を踏まえ、警察本部や地方検察庁などでの学外研修、身近な危険と自己防衛として行う護身術の実習など、実践的な内容となっています。



護身術の実習風景

その他の授業例

人間関係学科社会学専攻

「ジャーナリズム論」…新聞社

英語英文学科

「実務翻訳演習Ⅰ・Ⅱ」…翻訳会社

教育学科

「教職実践演習」…教育委員会

「社会教育経営論Ⅰ」…国立教育政策研究所、文部科学省、教育委員会

POINT

- ・身近な危険について理解し、対応策について考える
- ・犯罪・治安対策と警察業務に関する理解を深める

法学部 × 税理士 「法律基礎B(現代社会と税)」



日本税理士会連合会による寄附講座*です。本学出身の税理士で構成されている広島修道大学会計人会より税理士の方を講師として派遣していただき、実務的観点から税制についてお話をいただきます。税理士という立場から現代社会における税制を取り巻く問題について紹介していただき、税の基本を理解し法的観点から捉えつつ、現代社会における税制の役割との問題、またその中で税理士が果たしている役割について考えていきます。

*寄附講座…大学の外部組織(行政組織、民間企業、業界団体など)から教育・研究振興のために寄附された資金や人材を活用し行う講座

POINT

- ・税制の基本を理解する
- ・税理士の仕事について理解する

その他の授業例

「特別講義A(企業法実務研究)」…弁護士

「特別講義A(法律専門職の実務と法)」…司法書士

「特別講義B(法律実務文書)」…司法書士

経済科学部 × PMI日本支部* 「プロジェクトマネジメント論I」

プロジェクトマネジメントに必要な基礎知識を学んだ上で、実際に産業界でプロジェクトビジネスを実践しているPMI日本支部会員の方に、事例を通して経験的な知見を解説していただきます。

3年生以上のキャリア形成を視野に入れ、プロジェクトの企画・計画・実行・評価のプロセスを理解することによって、社会人として今後直面するであろうビジネスの本質的な問題と解決方法について、知識と事例の両面から学習し、自ら考える能力を養成します。



*写真は2019年以前のものです

その他の授業例

現代経済学科・経済情報学科

「特殊講義a(javaプログラミング)」…情報通信業

「ソフトウェアII」…自動車メーカーや自治体等

*PMI日本支部…世界最大のプロジェクトマネジメント協会(PMI)の日本における支部として、日本国内でのプロジェクトマネジメントの普及を目的に、さまざまなステークホルダーと共に活動しています。

POINT

- ・現代社会および企業活動において主流となるプロジェクトマネジメントに必要な知識と事例を学ぶ
- ・プロジェクトマネジメントに携わっている実務経験を踏まえた授業

人間環境学部 × アナウンサー 「パブリック・スピーキング」



ラジオ、テレビで活躍している本学出身のフリーアナウンサー住本明日香さんを講師に招き、自分らしい「話し方」や「伝え方」のスキルを、座学と実践を通して身につけます。同時に「聴くこと」「その場の空気を読む力」についても学び、日常生活で関わる人と円滑な人間関係を築いていくコツ、社会人として必要なコミュニケーションの基礎や挨拶などのマナーを修得することで、社会に出た際、好印象を持たれる人になることを目標に学習を進めていきます。

POINT

- ・社会人としての基本的なマナーを学ぶ
- ・社会人基礎能力の中でも重要なコミュニケーション能力を学ぶ

その他の授業例

- 「環境キャリアと社会」…環境関連企業（卒業生を含む）
- 「フィールド特殊実習（圃場b）」…森林管理業
- 「エコツーリズム論」…観光業
- 「中国地方の自然環境」…元一般社団法人広島県環境保健協会

健康科学部 健康栄養学科 × 食品関連企業 「食産業の理解」

管理栄養士の業務には、食品企業において食品の開発・改良・研究・検査・普及等に関するものもあります。本授業は、まず、本学教員が食産業の利益構造や食品工場の説明に加え、新商品開発事例や企業活動記事を紹介し、食品企業で働くための基礎知識を学びます。

そして、食産業に従事する方々もオムニバスで講師として招き、こうした業務への理解を深めます。今年度は、オタフクソース（株）や（株）Mizkan*の方に品質管理や商品開発の重要性について解説していただきました。

*今年度は広島県外に本社を置く企業にも御協力いただきました



その他の授業例

心理学科

- 「地域援助実践体験」…医療・福祉・教育施設
- 「心理実習」…保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野の施設

健康栄養学科

- 「臨地実習Ⅰ～Ⅳ」…高齢者福祉施設、児童福祉施設、事業所等の給食施設
- 「給食経営管理実習Ⅱ」…地域の方々（広島市・戸山地区）

POINT

- ・広島県に本社を置く食品企業の方による講義がある
- ・食品企業における管理栄養士・栄養士としての働き方を学ぶ
- ・研究開発や品質管理など食品企業での実際の活動を知る

国際コミュニティ学部 地域行政学科 × 自治体 「自治体行政実務」



地方自治体（県・市町村）は、国の行政とは異なり、住民に関わる数多くの行政を担っています。県と市町村、市と町村、市の中でも政令指定都市と他の市など、住民との距離や取り扱う行政の種類に違いがあります。その中でもさらに、住民の数、都市部と中山間地など、さまざまな違いにより行政の内容は異なる様相を見せています。

講義では、実際に職務に従事している自治体職員の方をゲストスピーカーとして招き、職務の共通性と違いを意識しながら具体的な職務内容を知ること、行政の役割への理解を深めます。

その他の授業例

国際政治学科・地域行政学科

- 「体験実践A・B」…海外研修、自治体、地域団体等
- 「地域プロジェクトA・B」…自治体、地元企業、まちづくり団体
- 「グローバル・プロジェクトA・B」…ポートランド州立大学、ポートランド市役所、Metro（広域政府）、現地NPO

POINT

- ・自治体の方による行政実務の講義
- ・実際の職務に従事する職員の講義から実情を知る
- ・地域活動への関心を深めるきっかけとなる

卒業生からの便り

Message from Graduate

株式会社カラダノート 取締役CFO

平岡 晃（ひらおか あきら）さん
商学部経営学科
2008年3月卒業
（広島県立海田高校出身）



恩師からの教えで充実した大学時代

大学2年生から所属したゼミで、森川譚雄先生（現在は名誉教授）に出会ったことが私の人生を変えたと言っても過言ではありません。

ディスカッション形式で行われていたゼミでは、自身の意見を述べるための事前準備の大切さを修得しました。また、森川先生は、常々「自分に投資しなさい」、「タテ・ヨコ・ナナメの関係を作りなさい」とおっしゃっていました。森川先生のその言葉をきっかけに、在学中は自分への投資としてさまざまな本を読んだり、社会人向けのイベントやゼミナール総会などの交流の場に積極的に参加しました。このことは、諸先輩方からたくさんの学びを得る貴重な経験にもなりました。学業以外でも、草サッカーチームの結成や地元の小学生へのサッカー指導、多種多様なアルバイトなど、興味のあることに意欲的に取り組み、自分の時間を充実させていました。



草サッカーチームと一緒に立ち上げた高校時代の同級生たち（平岡さん：前から3列目右端）

転職と上場プロジェクト責任者の経験

大学卒業後は、他大学の大学院に進学し、社会人となってからは4社経験しています。

新卒で入社した社会インフラ事業を行っている大手総合電機メーカーでは、担当部署の予算編成、予実管理の他に、国の補助金プロジェクトにも関わりました。その後、コンサルティング会社に転職し、M&A、株式公開準備、決算早期化、事業再生等、短期間のプロジェクトを数多く経験しました。3社目のSNSやゲームアプリを運営するIT関連企業では、子会社成長支援やM&Aなどに携わり、ベンチャー企業やインターネットサービスの

業界トレンドの移り変わりの早さ、意思決定スピードの早さを肌で感じることができました。

そして4社目となる、「株式会社カラダノート（旧・株式会社プラスアール）」に入社し、現在に至ります。「家族の健康を支え笑顔ふやす」というコーポレートビジョンを掲げ、インターネットサービスを主体としています。入社後はコーポレート部門の組織構築から株式公開準備などの業務全般に従事し、同時に東証マザーズに上場するためのプロジェクトにも携わり、2020年10月に上場を実現することができました。この一大プロジェクトを責任者として任されたことが、社会人生活の最も印象に残る経験となっています。約3年半の間、プロジェクトメンバーと共に、上場企業にふさわしい会社の仕組みを考え、日々さまざまな課題と向き合いました。日本における上場企業は約4,000社しかありませんが、弊社がそのうちの1社になれたことを大変誇らしく思っています。

現在も、投資家の方々とのコミュニケーションを中心とし、企業成長のために全社一丸となって課題に向き合っています。



仕事の様子

経験を活かして地域に貢献

仕事以外では、2児の父として、休日に子供と一緒に過ごす時間を大切にしています。弊社は家族向けサービスを提供しているため、親としてのこの時間もまた仕事に生きてくるのではないかと感じています。また、私自身のライフミッションとして、生まれ育った広島に何らかの形で貢献をしたいと思っており、特に地域活性化、地方創生に関するこれまでに経験したことを還元させていけたらと考えています。直近では、広島県が主催しているCampsアクセラレーションプログラム*にて、インプット講義の講師や審査員としてベンチャー企業の短期集中プログラムの審査をさせていただきました。これからもさまざまなチャレンジと経験を重ねて、人としてレベルアップしながら、広島へ貢献していきたいです。

*アクセラレーションプログラム…起業家や新興企業などの成長を支援する短期集中型ビジネス構築プログラム



休日に子どもたちと

興味のあることに時間の投資を

大学生活という限られた時間の中で、どんなことでもいいので自分の興味のあることに時間を投資してみてください。その活動や出会いを通じて、今後自分がやりたいことや得意なことなどが見えてくるかもしれませんし、それらは間違いなくその後の社会人生活にポジティブな影響を及ぼすと思います。ぜひ皆さんも、後悔のないよう大学生活を謳歌してください。

「時間は有限、限られた時間を楽しく前向きに」
どこかで皆さんの活躍を見られることを楽しみにしております。

特集 2 大学院での専門的な学び

本学は商学研究科、人文科学研究科、法学研究科、経済科学研究科の4研究科を備えており、幅広い分野における研究を展開しています。

本学では、5年で学士及び修士の学位が取得可能な「学部・大学院5年プログラム」※1や、3年ないし2年で2つの修士学位を取得可能な「ダブルディグリー制度」※2などを設けており、学問・研究の選択肢を広げています。

ここでは、大学院生の研究について各研究科1名ずつ紹介します。

※1:学部・大学院5年プログラム

通常、修士学位の取得には学部(学士課程)4年、大学院(修士課程)2年の計6年の期間が必要となることを、5年で学士及び修士の学位が取得可能になる制度です。学部の4年次に「特別科目等履修生」として大学院の授業を履修できるため、大学院進学後1年で修士の学位を取得することが可能になります。「特別科目等履修生」になるには成績が優秀である等の出願資格がありますので、教学センターで確認してください。

※2:ダブルディグリー制度

通常、1つの修士学位の取得には、大学院(修士課程)進学後2年の期間が必要となります。そのため、2つの修士学位の取得には計4年の期間が必要となることを、3年ないし2年で2つの修士学位が取得可能になる制度です。本学では、商学研究科及び法学研究科で導入しています。2つの修士学位を取得することで、学問・研究上の可能性を拡大するだけでなく、税理士、公務員などの進路選択にも活用することができます。

商学研究科

流通機構の機能と生産者における販路選択の決定プロセス

私は中国からの留学生です。2016年3月に来日し、1年間日本語学校で日本語を勉強した後、2017年4月より広島修道大学大学院 商学研究科に所属しています。

中国の農村出身で、90年代からの中国経済の発展と、それに伴う農村の変化を体感したことから、農家の貧困と農業後継者問題に関心を持っていました。大学院で勉強しているうちに、それらの問題は、農業市場・農産物の流通と深く関わっていることが分かりました。そして、現在、「流通機構の機能と生産者における販路選択の決定プロセス」をテーマに研究を進めています。

研究方法に関して、文献に基づいた理論研究・統計分析・実態調査を主として用いています。卸売市場やJAでの聞き取り調査、農家での参与観察等を積み重ねて実証分析を行っています。新型コロナウイルス感染症の流行に伴

い、調査が難しくなりましたが、その間理論研究に専念していました。今やっと感染状況が落ち着いてきたので、これからの調査を楽しみにしています。



聞き取り調査を行う羅さん(写真右)

商学専攻博士後期課程3年生
羅書坤さん
指導教員:矢野 泉教授

法学研究科

株主代表訴訟における和解制度の濫用防止について

私は、株主が原告となって会社に代わり取締役などの会社に対する責任を追及していく株主代表訴訟の中で、特に和解制度について研究しています。株主代表訴訟における和解制度には、当事者間において合理的な内容の和解ができるのであれば判決を待たずとも早期の紛争解決に役立つというメリットがあります。しかし、株主代表訴訟は、単独で提起できることから、取締役等の掌握下にある株主が当該役員等に有利な条件で和解する可能性があり、それは事実上の免責であるといえます。本来、免責は株主全員の同意か、当該役員等がその職務執行につき軽過失であったことが証明される必要があります。

この点において、株主による責任追及等の訴えにおける和解の具体的な要件がまだ不明確なことから和解の内容によっては、当該役員等の責任を大きく軽減することがで

き、ここに濫用の恐れなどの問題が生じると考えています。

そこで、株主代表訴訟における和解の問題点を整理し、和解制度の濫用を防止するためにはどのような方法が有効であるのかを研究しています。



法学専攻修士課程1年生(5年プログラム利用生)
西諏訪 梨花子さん
指導教員:鈴木 正彦教授

人文科学研究科

多数派への過度な同調傾向

私は、人には多数派の行動を過剰に模倣する傾向があるかということについて研究しています。例えば100名が参加する〇×クイズに皆さんも出ていると想像してください。では第1問、「東京都の面積は全都道府県で3番目に小さい」。この問題の答えを知らない場合、〇か×かの選択を迷う人も多はずです。これまでの研究では、正しい情報が確実に得られない状況では、過半数の人が示す回答を過剰に真似ることで、理論的には正答する確率が上昇すると言われています。これを多数派同調バイアスと言います。もし実際にこうした傾向があるのなら、〇×問題で迷った際には、多数派が支持する選択肢を選べば正解することができるのです。ですが、実際に人々がこうした適応的な判断である多数派同調バイアスを持っているかどうかは明らかに

なっていません。そのため現在、Web実験を用いて、正誤がある問題において、参加者に他者の回答を提示し、多数派の回答が参加者の選択にどの程度影響を与えるかを調べています。



心理学専攻博士前期課程1年生
藤川 真子さん
指導教員:中西 大輔教授

経済科学研究科

経済成長モデルによる環境問題および資源問題の分析

経済成長は豊かな社会を実現していくために必要なことです。しかし、経済成長には公害などの環境汚染問題、あるいは資源の枯渇問題などが伴うため、環境や資源の問題を経済成長の問題と同時に考えていかなければなりません。

このような問題を理論的に考察していくための経済モデルとして最適経済成長モデルというものがあります。これは、環境問題や資源問題を考慮した経済成長経路がどのようなものになるかを理論的に分析していくための経済モデルです。

最適経済成長モデルは、若干複雑な構造をしていますので、第1段階として、このモデルの基本的な枠組みについて詳細に検討していきます。第2段階として、分析対象として環境問題や資源問題をモデルに導入し、経済成長経

路がどのようなものになるかを分析していきます。第3段階として、環境問題や資源問題が存在しない場合の経済成長経路と比較することで、経済成長を考慮した環境問題や資源問題への対処の方法を模索していきます。

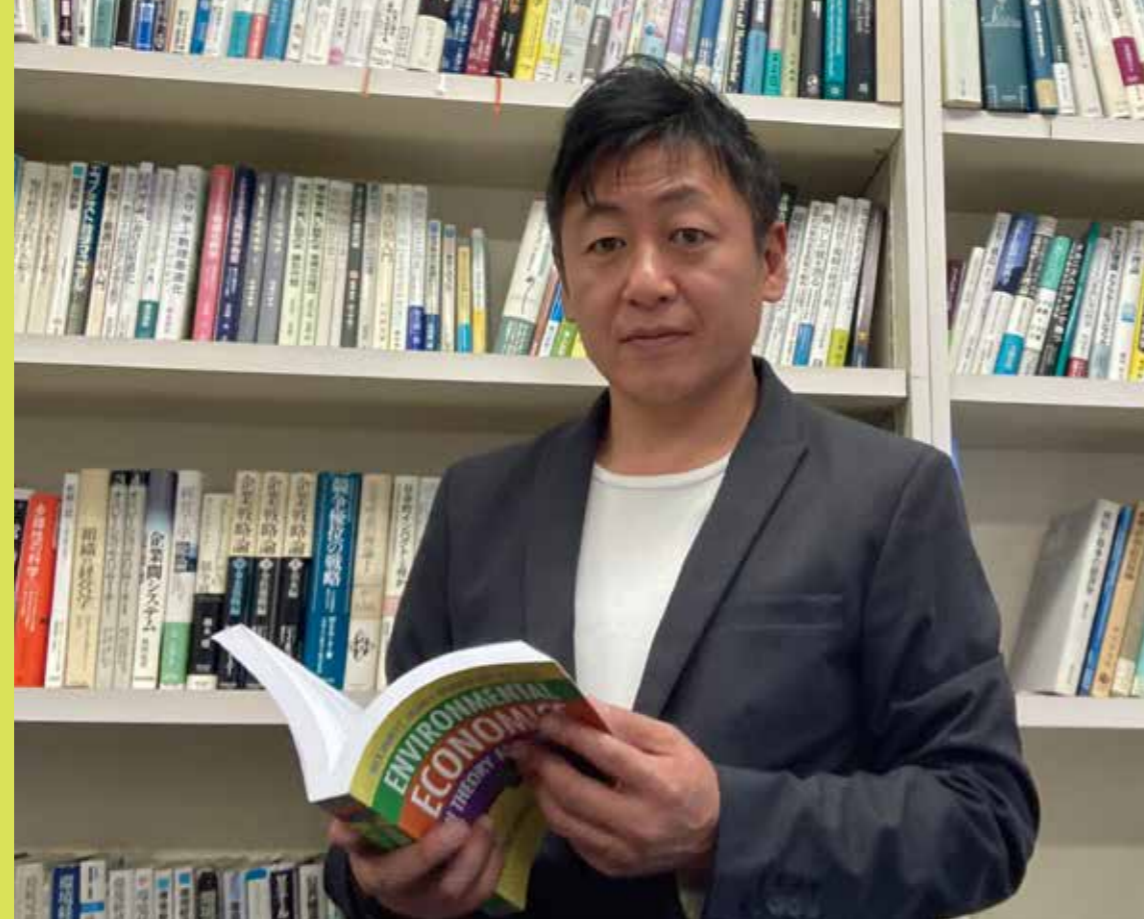


経済情報専攻博士後期課程1年生
浦瀬 康裕さん
指導教員:前田 純一教授

※取材内容は2021年11月時点のものです。

研究室の扉

環境問題と経済学のつながり



ようこそ、わたしの研究室へ

はじめまして。最初に私が専門とする領域についてお話をしたいと思います。私は、環境問題に経済学という学問領域からアプローチをする環境経済学を専門としています。経済学は社会科学の一分野であり、お金のことを考える学問?と思っている人も多いのではないのでしょうか。

現在の環境問題は非常に多様ですが、例えば、地球温暖化問題や、プラスチックごみの問題、有害化学物質の問題などを考えると、環境問題は経済学というよりも、むしろ、工学的なテクノロジーのような理系的知見により解決される問題と思われるかもしれません。環境問題の解決には理系的知見が重要であることは間違いありませんが、同時に、そうした知見がうまく機能するような仕組みが考えられる必要があります。例として、企業活動を考えてみます。企業が商品を生産する際に用いる設備において、従来よりも環境汚染を

大きく削減できる技術が存在したとしましょう。しかし、仮にそうした技術が存在していても、その技術を導入する費用がとて高い場合、この技術が企業に導入されるかという点も必ずしもそうとは限りません。これは、環境問題の解決が企業行動のような経済活動と関わっていることを意味します。また、我々の消費行動を考えても、商品を購入する際に、高い環境配慮性能を持つ商品を常に選択するかというと、これも必ずしもそうとは言えないでしょう。つまり、我々は環境問題という社会的に重大な課題があるとしても、その解決に繋がる行動を選択するとは限らないのです。

こうした現実下において、人や組織がどのような目的を持ち、どのように選択・行動をし、その結果、どのような状況が生じるのかを分析する仕組みを持つ経済学は、環境問題を解決するための有効な手段を提供しようと考えています。

研究について

私の研究は、環境問題と企業活動に関連するものです。

現在の社会には、多くの環境問題が存在しています。代表的なものとしては、地球温暖化問題が挙げられるでしょうか。地球温暖化問題は世界的に危惧されており、温室効果ガスの削減は我々の社会にとって重要な課題となっています。日本でも2050年までに温室効果ガスの排出を実質0にする、いわゆるカーボンニュートラルを目指す取り組みが始まっていることを見聞きしたことがあるかもしれません。

こうした状況において、企業活動にも環境配慮が期待されています。この際に考慮されなくてはならないのは、企業の利潤追求と環境配慮がどのような関係にあるのかという問題です。社会的課題である環境問題の解決は我々の生活にとって非常に重要です。しかし、環境問題が解決すればそれだけで良いのかというと必ずしもそうとは限り

ません。仮に、環境問題への取り組みを行った結果、経済に大きなマイナスの影響が生じてしまうと、環境問題は解決したけれど、同時に人々の生活はとて貧しくなってしまいます。こうした状態は社会にとって本当に望ましいのでしょうか?より望ましいのは、環境問題が解決し、同時に人々の生活が豊かになる状況ではないのでしょうか。そうした考えに基づき、「環境と経済の両立」を実現するメカニズムはどのようなものかについて研究を行っています。

また、この内容に関連しますが、環境問題の解決には前述したように技術が必要となります。企業が環境問題を大きく改善するような革新的な技術を開発・導入すること、いわゆるイノベーションの実現は社会的にも大変有意義なものであると考えられます。近年では、こうした領域についてグリーン・イノベーションという言葉も聞かれるようになりました。しかし、その実現には多くの課題があります。そもそも利潤を追求する主体である企業はこうしたイノベーションを実行する誘因を常に持つとは限りません。そのため、企業が利潤を追求する中で環境負荷削減に繋がるイノベーションを生み出す方向で努力するかどうか、という問題についても研究を行っています。



教育について

私が大学での講義において意識していることは、学生の関心を高めることと学生の自主性を尊重することです。

環境問題を経済学という観点から考える場合、経済学という学問領域をある程度理解しなくてはなりません。しかし、経済学という枠組み自体が学生からすると少しイメージしにくいことがあります。これは、高校までの勉強で経済学を学んでいない学生が多いためです。当然のことです。そのため、講義では教科書的な内容を教えるだけでなく、それが現実問題とどのように繋がっているのかという点をできるだけ具体例を交えながら講義をするようにしています。

同時に、学生に対しては出来る限り自主性を尊重するように努めています。大学での学問は、明確な正解が存在していないことが多々あります。そうした状況においては、強制的にやらされる勉強ではなく自らの関心に沿って自由な観点から学問を行うことが学生の積



ゼミの風景

極的な学びに繋がり、学生の能力の向上に寄与すると考えているためです。

私のゼミナールでは、環境問題と企業活動について学びますが、学生がテーマを自主的に選んで研究を行うようにしています。自らが選択したテーマに沿って学生自身が資料やデータを集め、そして、自分達で真剣に悩み、考えた成果をレポートにまとめていきます。こうした取り組みを通じて生み出された成果を見ることは、私自身にとっても多くの学びや刺激となっています。



プロフィール
人間環境学部教授
岩田 裕樹(いわた ひろき)
京都大学大学院 経済学研究科 単位取得退学博士(経済学)
専門分野:環境経済学、環境政策、環境経営
主要研究テーマ:企業の自主的取り組み、環境配慮行動とイノベーション、地球温暖化問題



Topics 1 ヴァーツラフ・ハヴェルのベンチ除幕式を挙行(12/7)

12月7日、チェコ共和国大使館のマルチン・トムチョチェコ共和国駐日特命全権大使をお招きし、「ヴァーツラフ・ハヴェルのベンチ(以下、「ハヴェルのベンチ」)除幕式及び講演会を執り行いました。

「ハヴェルのベンチ」は、チェコスロヴァキアの民主化を主導したヴァーツラフ・ハヴェル 初代チェコ共和国大統領の遺徳を偲ぶもので、会合や議論、考察を促す空間を生み出す芸術プロジェクトです。これまで、チェコ国内をはじめとする世界の都市、著名な大学などに設置されています。チェコ共和国の大学と協定の実績があることなどの理由から、このたび、アジアで初めて本学に設置されました。

除幕式には、湯崎英彦 広島県知事、松井一實 広島市長、宇山秀樹 外務省欧州局長にお越しいただき、祝辞を頂戴しました。また、本プロジェクトを推進する「VIZE97財団」理事長で故ハヴェル氏の妻ダグマル・ハヴロヴァー氏は、新型コロナウイルス感染症の影響によりご出席は叶いませんでしたが、お祝いのメッセージをいただきました。

講演会では、東京外国語大学より篠原琢教授、ダニエラ立古講師にお越しいただき、ヴァーツラフ・

ハヴェル氏について、並びに、ピロード革命についてご講演いただきました。講演会には、約100名が参加し、チェコ共和国及びヴァーツラフ・ハヴェル氏への理解を深める貴重な機会となりました。

今後、「ハヴェルのベンチ」に学生が集い、議論、考察を深める空間や憩いの場になること、そして、チェコ共和国との交流を深めるきっかけとなることを期待します。



Topics 2 学生応援企画 『100円ランチ』を実施(11/8 ~ 1/24)

学生の健康を食事で支えたいという思いから、広島修道大学後援会が『100円ランチ』を企画しました。一食分の料金のうち、100円を超える部分を後援会が支援し、学内の食堂において、1日あたり340食を上限に提供しました。

学部生は定食やランチボックスなどの対象商品を100円で購入できることから、大変好評でした。



Topics 3 人文科学研究科心理学専攻の修了生5名が公認心理師試験に合格(10/29)

10月29日、第4回公認心理師試験の合格発表があり、人文科学研究科心理学専攻臨床心理学領域を2021年3月に修了した5名が合格しました。

日本初の心理職の国家資格である公認心理師は、2017年に施行された国家資格です。国家試験は2018年より実施され、今年で4回目を迎えます。

本学では、2017年度より健康科学部心理学科に心理臨床コース、2018年度より人文科学研究科心理学専攻に臨

床心理学領域を設置し、所定の単位を修得し、修了することで、公認心理師の受験資格を得ることができます。

2020年の第3回公認心理師試験では、臨床心理学領域の1期生2名が合格しており、これまでに本学から受験した修了生の合格率は100%を誇ります。

今後は、保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働などの多様な心理臨床分野での活躍が期待されます。

Topics 4 本学学生が『「東南アジア青年の船」青年会議』に日本参加青年のリーダーとして参加

2021年11月から2022年1月の間、人文学部英語英文学科4年長岡龍さんが内閣府青年国際交流事業『「東南アジア青年の船」青年会議』に、日本参加青年のリーダーとして参加しました。

内閣府が行っている「東南アジア青年の船」事業は、日本の青年と東南アジア10か国の青年が「東南アジア青年の船」に乗船し、船内や訪問国での討論、ホームステイ、地元青年との交流等さまざまな活動を通じて、相互の友好と理解を促進し、あわせて青年の国際的視野を広げ、国際化が加速する社会の各分野でリーダーシップを発揮することができる青年を育成することを目的としています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への渡航が困難であることから、オンラインを活用した交流活動『「東南アジア青年の船」青年会議』が行われました。

本事業に参加するには、概ね18歳から30歳でディスカッション等を円滑に行うことができる英語力を有する等の応募要件を満たし、選考試験に合格する必要があります。長岡さんは日本の参加者27名のうちの一人に選ばれ、日本参

加青年のリーダーとして参加しました。

プログラムはピア・ラーニングセッション(参加学生が自主的に企画・運営する文化紹介等の活動)、グループディスカッション(SDGsの分野ごとのディスカッション)、報告会で構成され、ピア・ラーニングセッションでは長岡さんが企画した「発酵文化とSDGs」についてプレゼンテーションやディスカッションが行なわれました。



Topics 5 広島県日韓スピーチコンテスト2度目の大賞受賞(11/13)

商学部4年畑田菜摘さんが、日韓(韓日)スピーチコンテスト韓国語部門で大賞を受賞しました。日韓(韓日)スピーチコンテストは広島韓国教育院、大韓国民団広島県地方本部、広島県日韓親善協会が主催しており、今年で第16回を迎えます。

畑田さんは、初修外国語で韓国語を履修し、2020年2月より韓国に留学する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。スピーチでは、留学中止後も韓国語の勉強を続け、2021年夏に韓国語能力試験(TOPIK)最上級に合格し、現在はその経験を生かしてオンラインで韓国語を教えていることについて話しました。

畑田さんは2019年度にも大賞を受賞しており、この度2度目の受賞となりました。



Topics 6 広島県通訳案内士に合格

人文学部英語英文学科通訳コースの学生3名が広島県通訳案内士の試験に合格しました。

国家資格である「全国通訳案内士」に加え、2018年度から「地域通訳案内士」の制度が創設され、広島県も独自に通訳案内士を育成しています。通訳コースからの合格者は、2018年度3名、2019年度4名、2020年2名に続き、4年連続で、制度開始以来、毎年、順調に合格者を輩出しています。

今年の3名は県主催の地域通訳案内士の研修会に参加しつつ、自主的に勉強会を開催し、試験に必要な知識と技

能を身につけました。今後は有資格者として地域振興に貢献し、将来の可能性を広げてくれることが期待されます。



Topics 7 【サッカー部】長井響さんがガイナレ鳥取に入団内定

サッカー部に所属している長井響さん(法学部4年生)が、2022シーズンよりJリーグ・ガイナレ鳥取に選手として加入することが内定しました。

本学からは、2005年以来2人目のリーガーとなります。

今号の「修大人」で長井さんを紹介しています。ぜひご覧ください。

受賞報告

人文学部 石田崇助教が2021年度日本英語学会第14回国際春季フォーラムにおいて、優秀発表賞(佳作)を受賞

人文学部 石田崇助教が、2021年度日本英語学会第14回国際春季フォーラムで行った研究発表「Why Does Contrast Allow Relational Adjectives to Be Used Predicatively? A Qualia Structure-based Account」(納谷亮平氏(筑波大学人文社会系助教)との共同)により、優秀発表賞(佳作)を受賞しました。

この賞は、若手研究者の育成と研究活動を促進し活性化を図るために、日本英語学会の年次大会および国際春季フォーラムでの発表を対象に、優秀な発表を行った会員を顕彰するものです。

本発表は、限定用法しか持たないといわれる英語の関係形容詞(Relational Adjective)が述語位置に現れるのはなぜかという点について、従来の研究で議論されてきた要因(本来の修飾対象である主要部名詞の削除(Noun Deletion)と対比性(Contrast))に加え、名詞の特質構造(Qualia Structure)が関係することを論じ、この観点から上記の問いに答えたものです。

詳細: http://elsj.jp/awards/awardee_list/#happyo



法学部 奥谷健教授が納税表彰を受賞

法学部 奥谷健教授が納税表彰において広島東税務署長表彰を受賞しました。納税表彰は、国税の申告と納税及び租税教育等に関して、功績顕著な団体又は個人及び法人を顕彰することにより、広く納税道義の高揚等に資することを目的としています。奥谷教授は今回、租税教育に貢献していることが評価されての受賞となりました。



法学部 松本奈津希助教が日本財政法学会の研究奨励賞を受賞

法学部 松本奈津希助教の論文「最低生活保障の法理の形成と具体化(1)(2・完)——連邦憲法裁判所と連邦財政裁判所の判例を素材として——」が「日本財政法学会研究奨励賞」を受賞しました。

日本財政法学会研究奨励賞は、日本財政法学会により、学会に所属する若手研究者による財政法学に関する独創的な研究を奨励する目的から設立された賞であり、財政法学に関する優れた原著論文の著者に対して原則として毎年1件が表彰されます。

この度受賞した論文では、ドイツ連邦財政裁判所による最低生活保障の法理の形成過程と、連邦財政裁判所によるその後の展開についてまとめられており、その内容が評価されました。



Hiroshima Shudo University Campus News

news 1 啓明大学校とのオンライン交流イベントに参加(9/28、11/15)

9月28日、本学協定校である啓明大学校とのオンライン交流イベント「大学生ウェブ会議」が開催され、国際コミュニティ学部の学生12名が参加しました。本交流イベントは、7月に開催された広島市・大邱広域市の姉妹都市交流事業の第2弾として実施しました。

また、これらのイベントをきっかけに、さらなる交流を希望した学生たちの声により、11月15日、啓明大学校・国際交流センターの協力のもとオンライン韓国語・日本語交流会が開催されました。日本語・日本文化を学ぶ啓明大学校の学生5名、韓国語・韓国に関する国際コミュニティ学部の学生5名が参加し、韓国語と日本語をおりませた両国の文化に関するディスカッションなどの交流をしました。

イベントに参加した学生からは、「共通点や相違点がわかって興味深かった」などの感想が寄せられました。これらのオンラインイベントを通し親交を深めた学生たちは、今後も交流を続けたいと連絡先を交換している姿がみられました。



news 2 日本語学校留学生の体験入学会を実施(10/19)



10月19日、日本語学校で日本語を学んでいる生徒を招いた体験入学会を開催し、広島市内の2校から、中国、ベトナム出身の計6名が参加しました。大学のキャンパスの様子や入試制度についての説明の後、日本語の模擬授業を受けました。

模擬授業では「煮卵」「炒り卵」といった卵に関する単語を学んだほか、ニワトリを題材に生命と科学について考えを深めました。

生徒たちからは「きれいなキャンパスが見られてよかった」、「ぜひ広島修道大学で学んでみたい」といった感想が聞かれました。

news 3 「若者世代に贈る広島広域都市圏での「仕事暮らし」方」プロジェクトの中間報告会を開催(10/21)

10月21日、「若者世代に贈る広島広域都市圏での「仕事暮らし」方」プロジェクトの中間報告会を開催しました。

本プロジェクトは、「仕事暮らし」*1をキーワードに多世代が学びと交流の場へ参画することを通じて、広島広域都市圏における若者世代の定着や関係人口*2の拡張を促すことを目的としています。

人文学部山川肖美教授とひろしまジン大学*3平尾順平氏を发起人として2020年6月より定期的に開催している学生と社会人との学びと交流を目的としたオンラインゼミ(通称「コラボゼミ」)を活用し、同ゼミに参画する本学学生10名・本学教員とひろしまジン大学と広島市が連携をして、広島広域都市圏でどんな生き方・暮らし方ができるのかを学生と社会人がともに考えていく試みです。本プロジェクトは、広島市の「広島広域都市圏地域貢献人材育成事業」*4にも採択されています。

中間報告会では、プロジェクト参加学生のほか、関係者、広島市職員の方、本学教職員等が29名参加しました。大学生・社会人双方にとって、「仕事暮らし」についての互いの価値観の違いを発見する豊かな時間になりました。

*1仕事暮らし…広島広域都市圏に暮らす人々のユニークな働き方と暮らし方の総和を意味する。

*2関係人口…移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。

*3ひろしまジン大学…広島市のさまざまな地域、分野で活躍する個性豊かな人(ひろしまジン)たちを先生にまちや地域のことを学び、つながる場として特定非営利活動法人ひろしまジン大学が運営しています。

*4広島広域都市圏地域貢献人材育成事業…大学等が広島広域都市圏を構成する市町において、当該市町や地域住民、企業、団体等と連携して地域課題の解決に取り組む教育研究活動に対し、補助する事業。



news 4 ウオクニ株式会社と大学生コラボ企画「腸(チョー)いい 秋のお弁当」を開発・発売(11/18)



健康科学部健康栄養学科3年生が「臨地実習 I (給食の運営)」の実習先であるウオクニ株式会社において、「腸(チョー)いい 秋のお弁当」を開発しました。開発した弁当は、大学生コラボ企画としてウオクニ株式会社によりマツダ株式会社本社の工場給食(弁当)を提供するマツダ給食センターにて、11月18日限定で発売されました。

今回の弁当は、腸内環境を整える「腸活」で食欲の秋を楽しんでいただけるように開発し、キノコ類、ゴボウ、サツマイモ、レンコンなど日本人に不足しがちな食物繊維が豊富な食材を使用しました。

学生たちからは「献立作成・仕込・盛付・販売と一通りの作業を体験しとても貴重な実習だった」との感想が寄せられ、実習先のウオクニ株式会社の方からは「全体的にバランスの良い味付けで、秋を感じさせる献立でした」とのコメントをいただきました。



news 5 本学学生が広島市議会議員との座談会に参加(9/30)

9月30日、本学学生2名が、広島市議会議員との座談会に参加しました。

本座談会は、1963年から発行している広島市議会広報紙「ひろしま市議会だより」の創刊300号を記念して開催されました。座談会はオンラインで開催され、本学からは、学生広報スタッフとして活動している学生が参加しました。

広島市議会議員と「市民を惹きつける市議会広報とは？」のメインテーマのもと、「市議会広報はお堅い？」という小テーマに沿って、若者の興味を引く広報の在り方について議論を交わしました。

座談会の内容は、12月11日発行の「ひろしま市議会だより」第300号記念特別号に掲載されています。

掲載内容は以下のURLからでもご確認いただけます。

■ 広報紙「ひろしま市議会だより」の発行(広島市WEBサイト)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/gikai/10872.html>



news 6 三上学長ラジオ出演(11/7)



11月7日、RCCほか「ラジオでリモート同窓会～Wonder広島修道大学～」に三上学長が出演しました。同番組は本学同窓会の発案で、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった同窓大会の代わりとして、中四国9県8局に生放送されました。学長のほか、同窓会の松井会長や本学学生2名などが出演し、本学の昔と今を発信しました。

news 7 Book Hunting(ブックハンティング)2021を開催(10/4～31)

10月4日～31日の期間、「Book Hunting2021」を実施しました。

ブックハンティングは年に一度、学生・教職員が選書する機会です。今年度も、昨年度に引き続き、感染症拡大防止のため、スマートフォン等を使って電子書籍を選書する「オンライン方式」で行いました。また、冊子体図書を直接見て選書する方式も、参加対象者及び時間帯を制限した上で、5日間行いました。

選書された電子媒体103冊、冊子体981冊の図書は、12月1日から図書館2階の展示コーナーに展示しています。電子書籍は展示されたQRコードを読み取って、簡単にアクセスすることが可能です。



news 8 入学準備学習プログラム(第1回Webキャンパス学習Week)を実施(12/16～22)

12月16日～22日の期間、入学準備学習プログラムの一環として第1回Webキャンパス学習Weekをオンラインで実施しました。総合型選抜・学校推薦型選抜[公募(専願)・指定校・附属校(専願)]に合格した高校生が、学科教員による模擬講義、在学生による学生生活の紹介や学習支援センターによる「修大生になるために」「読む技を身につけよう」など、

様々なプログラムに参加して大学生活に向けた準備をスタートさせました。

本プログラムではこの他に通信課題(英語・日本語ワークブック)や学科別課題も用意し、合格後の高校生に継続した学習機会を提供しています。

news 9 災害ボランティアリーダー養成講習会「基礎知識編」を開催(11/25)

11月25日、近年頻発している災害に備えて、災害ボランティアに関心のある学生やボランティアリーダーを志す学生に向けた講習会を初開催しました。この日は、第1弾として、全国各地での災害ボランティア経験を有する人間環境学部西村仁志教授から災害ボランティアの基本を学びました。参加した20名の学生からは、災害ボランティアに対する知識や理解が深まったという感想が多く寄せられました。今後も継続して講習会を行う予定です。



news 10 留学生のための就職ガイダンスを実施(11/16)

11月16日、協創館(8号館)1階まなびホールにて留学生を対象とした就職ガイダンスを実施しました。このガイダンスでは就職情報会社より講師をお招きし、留学生の就職環境や日本の就職活動の特徴、今後の活動スケジュールや

これから準備するべきことなどをご説明いただきました。参加した留学生は、メモを取りながら真剣な表情でガイダンスに臨んでいました。

news 11 学内企業説明会を開催(11/15～12/23)

11月15日～12月23日のうち25日間、「学内企業説明会」を対面とオンラインのハイブリッド形式にて実施しました。新



型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年2月に行う大規模な合同企業説明会の開催が困難なため、早期より説明会を開催し、長期間に渡って複数社の企

業の説明を聞く機会を学生に提供しました。11月・12月に開催したものは全学年参加可能の説明会とし、就職活動を本格化させる3年生の他、1・2年生も参加しました。感染症対策を徹底し、事前予約による対面参加と、その様子をWEB上で視聴できるオンライン参加にて実施しました。本学の学生のために企業から説明をいただける貴重な機会ということもあり、延べ1,338名の学生が参加しました。学生は、関心のある企業の説明を熱心に聞き、積極的に質問するなど情報を集めることで視野を広げ、これからの進路選択に向けた行動を本格化させるきっかけとなりました。

news 12 公務員合格体験報告会を開催(11/29)

11月29日、「公務員合格体験報告会」を6101教室で開催し、今年度の公務員試験(国家一般職・行政職・公安職)に合格した4年生4名が進路決定先の志望理由や具体的な勉強方法・面接対策等について発表しました。感染症対策を徹底してパネルディスカッション形式で実施し、77名の学生が参加しました。終了後のアンケートでは、「先輩方の話を聞いて、モチベーションが上がりました。今、自分が何をすべきなのか具体的に知ることができました。」「面接や集団討論について、実体験を聞くことができてよかったです。今から対策を始

めたいと思います。」などといった感想が寄せられ、今後の行動を考える契機となりました。



news 13 卒業生との交流会を開催(12/4)

12月4日、本学同窓会とキャリアセンター共催による「卒業生との交流会」を2号館2階で開催しました。学生にとって身近な存在である卒業生から、業界の現状と企業・団体の特徴を直接聞ける貴重な機会となり、当日は卒業生25名、学生80名が参加しました。

参加学生からは、「貴重なお話が聞けて、とても有意義な時間となりました。今後の行動に繋げていきたいと思いました。」「質問する際に、卒業生の方だったので質問しやすくて良かったです。」といった感想が寄せられ、卒業生からは、「学生が素直に聞いてみたいことが分かり、勉強になりました。」などの言葉をいただきました。学生にとっては、就職だけでなくこれからのキャリア(人生)を考えるきっかけとなり、卒業生にとっては学生とのつながりができる機会となりました。



news 14 生活安全セミナーを開催(10/29)

10月29日、「生活安全セミナー」を開催し、学友会に所属する94名の学生が参加しました。本セミナーは学友会と学



生センターの共催で毎年開催していますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったため、2年ぶりの開催となりました。

当日は、安佐南警察署生活安全課の長谷川真一警部補を講師としてお招きし、「薬物乱用について」、「犯罪から身を守る方法について」、「犯罪情勢について」の3テーマについて、具体的な事例を交えながら説明していただきました。学生たちは現職の警察官の方からの興味深いお話を熱心に聞いており、質疑応答では学生から多くの質問がありました。

news 15 第17回広島修道大学学長杯水泳競技大会「修大チャレンジカップ」を開催(11/13)

11月13日、第17回広島修道大学学長杯水泳競技大会「修大チャレンジカップ」を修大フォーラムプール(25m×8レーン公認)で開催しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となってしまった本大会ですが、今年度は開催時期を11月に延期して、開催することができました。

本大会には、修大協創、高陽、崇徳、沼田、広島観音、広島国泰寺、広島城北、広島皆実、舟入、基町の10校が参加し、本学水泳部と合わせて総勢124名が24種目の競技に挑みました。

最優秀選手は、個人5種目、リレー2種目に出場し、個人5種目すべてを大会新記録で優勝した下田彩葉さん(崇徳高校2年)が受賞しました。

本学水泳部は、男子4×50mメドレーリレーや個人3種目で優勝するなど、大会を通して高校生との交流を深め、大学水泳のやりがいや楽しさを伝えることができました。



崇徳高校水泳部のみなさん



最優秀選手 下田彩葉さん

news 16 2021年度UNIVAS指導者研修会を開催(12/11)

12月11日、UNIVAS指導者研修会を開催し、体育局サークルの顧問、学外指導者及び選手等の37名が参加しました。



本学は、2019年にUNIVAS(大学スポーツ協会)に加盟し、スポーツの推進及び振興等に取り組んでいます。

2019年度から3回目の開催となる今回の研修会は、2021年度に包括的連携協定を結んだミズノ株式会社と大塚製薬株式会社にご協力いただき、競技力向上を目的とした「スポーツ栄養」、キャリア形成を目的とした「ロジカルコミュニケーションスキル」をテーマに行いました。

本学は今後も、スポーツの推進及び振興のために指導者の知識向上や環境整備を推進していきます。

修大

大学でのサッカー生活について教えてください

小学校1年から始めたサッカーですが、大学入学時は続けるかどうか迷ってました。最終的には、愛媛と一緒にサッカーをしていた友人がいたこともあり、共にサッカー部に入部することにしました。

私はもともとボランチという中盤の守備的なポジションを専門にプレーしていたのですが、大学に入ってから、チーム事情もあり最終ラインのセンターバックにポジションを変更しました。今まで経験したことのないポジションであったため最初はうまくいかないことが多かったのですが、同じポジションの先輩にいろいろ聞いていくうちに徐々に慣れ、最終的にはうまくフィットできました。

練習では日々の限られた時間で自身を成長させるために、強度を上げ、また、常に考えてプレーすることを心掛けていました。コロナ禍においては、チーム練習ができない分コミュニケーションをとるために、週に一回チームでオンラインミーティングを行ったり、ジムに入会して筋力強化に重点をおきました。高校の時とは違い、人工芝でサッカーに打ち込める環境も自分にとって良かったです。



チームメイトとの集合写真(長井さん:後列左端)

サッカー部の長井さんが ガイナレ鳥取入団内定! リーガーに!



長井 響(ながい ひびき)さん
法学部法律学科4年生(愛媛県立今治東中等教育学校出身)

ポジション:DF

サッカー歴:清水FC → 今治東中等教育学校 → 広島修道大学

プレーの特長:対人プレーの強さに加え、空中戦を得意とする。攻撃の起点となるビルドアップも魅力。

いつからプロをめざしましたか?

小さい頃からプロ選手になりたいと漠然と考えていたのですが、正直自分はそのレベルに達しているか不安でした。転機となったのは、3年生の1月に参加したリーグチームでの練習です。練習についていけない不安でしたが、プロ選手と練習をしていくうちに、自分が得意とするプレーなどで通用する部分があると感じ、自信を持つことができました。

また、プロ選手の食事を見て、自分も食事に対する考え方が変わり、栄養バランスを意識して食事を摂るようになりました。



プレーの様子

入団内定が決まって どうですか?

入団内定が決まった時は、小さい頃からの夢を叶えることができとても嬉しかったです。家族、友人、指導者、自分に携わってくれた全ての方々に感謝し、恩返しができるように全力でプレーしていきたいです。

現在は、入団に向け、プロの世界でも当たり前負けしないようにフィジカル面を鍛えています。



(左)長井さん(右)吉野智行ガイナレ鳥取強化育成部長

今後の目標を 教えてください

プロサッカー選手として、具体的な目標を立てそれを実現するために頑張っていきたいと思っています。当面の目標は、1年目から試合に出場し、より多くチームに貢献することです。未知の世界で不安もありますが、努力を怠らず、一生懸命頑張っていきたいです。

最後に修大生にメッセージを お願いします

大学でのサッカー生活、特に最後の1年は、練習メニューや戦術などを自分たちで主体的に考える機会が多く、今までよりも更に真剣にサッカーに向き合うことができました。また、サッカーの面白さをより感じることができました。これはサッカーに限った話ではないと思います。何事も自らが主体的に考えながら向き合うことで、楽しく、より成長できると思います。

皆さんも自分自身の目標を立て、それを実現するために努力を惜しまず頑張ってください。

弓道部



部員一丸となって「楽しんで勝つ」

現在弓道部は、男子13人、女子5人で日々楽しく活動しています。部員は個性豊かなメンバーであふれており、全員が仲のいい部活です。10月末に3年生が引退し、現在は新チームで中四国新人大会や広島県新人大会に向けて練習をしています。また、ハロウィンやクリスマスなど季節ごとのイベントも行い、練習以外も楽しみながら活動しています。

今年度はインカレ個人出場、中国大会個人3位・団体入賞など多くの大会で成績を残しました。今後の目標は、全国大会に団体で出場することです。

部員一丸となって協力し「楽しんで勝つ」をモットーに今後も頑張っていきます。応援よろしくお祈りします。

ヨット部



今ここでしかできない体験を!

ヨット部は、毎週土曜日・日曜日に観音マリーナで活動しています。他大学と一緒に練習を行っており、にぎやかで楽しい雰囲気です。部員のほとんどが大学からヨットを始めていますが、他の大学も同様で、努力次第で結果を残すことができます。今年は、広島県セーリング連盟主催の大会で5位という成績を残すことができました。

また、ヨットだけでなくSUPをしたり、モーターボートで沖へ出たり、貴重な体験ができることが特徴です。泳げなくても、運動に自信がなくても楽しむことができ、個性的で仲の良い部員が集まっています。

海風を感じられる活動の様子をTwitter、Instagramで発信していますので、ぜひご覧ください。

ロック部



音を奏でる、だけじゃない。

ロック部では先輩・後輩、実力にかかわらず、和気あいあいと活動しています。大学から楽器を始めた部員も多く在籍しており、講堂のホールを使用した練習を主として、全員で切磋琢磨しながら日々練習に励んでいます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で思うように活動できないながらも、11月に行われた修大祭で3年生を中心にステージを彩りました。例年では市内ライブハウスを借りての定期演奏会や合宿など、さまざまな活動を行っています。特に夏の定期演奏会では、バンドメンバーや楽器を変えて自由に演奏することで部員同士の交流をより深めています。

部員全員で支えあいながら活動しているロック部を、ぜひ応援よろしくお祈りします。

日本史愛好会



歴史を通じて出会える最高の学びと仲間

日本史愛好会では週に1回、日本史を中心に、世界史や社会問題など多岐にわたる対象について研究発表や議論を行っています。そして、月に1度学外でのフィールドワークも行っています。

コロナ禍においても、早期にオンラインでの活動を取り入れ、研究発表・議論を継続的にを行い、宮島や広島城などへのフィールドワークも行ってきました。

日本史愛好会では、好きな時代・分野などの興味や知識をお互いで補完しあい、新たな興味・学びを得ることが出来る点が魅力です。

また、私たちは知識の有無よりも興味の有無を大切にしながら活動し、活動を通して歴史を学ぶことの重要性や楽しさを、部員さらには、修大生に広めていきたいと思っています。

主な大会・成績

サークル名	大会名	成績	
アイススケート部	第77回国体冬季大会アイスホッケー競技会県市予選	初戦敗退	
弓道部	第67回中四国学生弓道選手権大会	団体 個人	予選敗退 決勝進出 浅田 朋揮、草本 敦慈
剣道部	中四国学生剣道新人大会	男子A 男子B 女子	初戦敗退 二回戦敗退 初戦敗退
硬式野球部	広島六大学野球2021年度秋季リーグ	3位	
	広島六大学野球2021年度新人戦	初戦敗退	
サッカー部	中国大学サッカーリーグ1部	第6位(6勝5敗)	
	IIリーグ中国西部地区	修道A 修道B	第3位(3勝1分2敗) 第6位(1勝1分4敗)
	第5回中国大学サッカー新人大会	初戦敗退	
準硬式野球部	第39回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会中国地区選考会	全中国チーム選抜出場 竹之内 寛人、井上 皓聖、白石 晃大、大島 卓巳、藤原 大輔、藤崎 優	
スカッシュ部	第40回関西学生スカッシュ選手権大会	男子	2位 橋口 詩穂 3位 山田 幸竜 4位 中津井 佑哉
		女子	3位 難波 優奈 4位 平賀 萌
卓球部	第87回全日本大学総合卓球選手権大会	男子ダブルス 男子シングルス	1回戦敗退 飯塚 翔一、犬飼 晃生 1回戦敗退 高橋 慶任
軟式野球部	令和3年度広島六大学学生軟式野球秋季大会	初戦敗退	
バレーボール部(男子)	2021年度中国秋季リーグ男子2部	3位	
ハンドボール部	秋季一般兼日本選手権予選広島県大会	1回戦	33-19 WIN
		2回戦	24-20 WIN
ヨット部	第71回中国学生ヨット選手権大会兼第86回全日本学生ヨット選手権大会中国水域予選	470級	5位
ラクロス部(男子)	第28回中四国学生ラクロスリーグ	中国ブロック	3位(2勝2敗)
陸上競技部	第44回中国四国学生陸上競技選手権大会	男子1500m	4位 本光 健裕
		男子3000m	7位 竹井 寿明
			8位 鎌田 颯
		男子走幅跳び	8位 広瀬 陸
		女子5000m	3位 波賀 萌菜
		女子400m	4位 松田 百恵
吹奏楽団	第45回広島県アンサンブルコンテスト	トロンボーン三重奏 金賞・広島県代表	

活動スケジュール

サークルの大会・イベントなどの活動スケジュールを大学WEBサイトの「クラブ・サークル」ページ内で公開しています。以下のURLにアクセスして「大会・イベントスケジュール」を選択してご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。
<https://www.shudo-u.ac.jp/lifesupport/club/index.html>



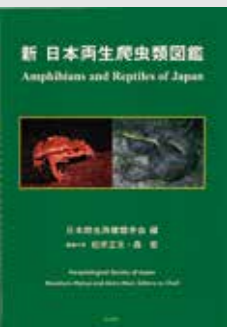
books 刊行物 本学教員の著書を紹介します



『希望の本質 サミュエル・ジョンソンの思想と文学』

石井 善洋 著
春風社 2021年10月26日 256ページ 3,850円(税込)

人は空想を「夢」と言いなし、何の行動も起こさずに、意識の微睡(まどろみ)の中で歳月を送ることがある。希望とは「夢」の実現を信じることであるが、そこには心の弱さも、驕りも、潜んでいる。ジョンソンは希望にまつわる人間の心理を分析し、希望の真の姿をエッセイや物語の形で教える。本書では、ジョンソンの思想を分析再構成しながら、「合理的な希望」とは何か、人生の実相とはどういうものなのか、希望の本質を論ずる。



『新 日本両生爬虫類図鑑』

城野 哲平 ほか 著(日本爬虫両棲類学会 編)
サンライズ出版 2021年9月10日 234ページ 8,800円(税込)

現時点で唯一の日本の両生爬虫類全種(207種/亜種)を網羅した図鑑。いわゆる図鑑の概念から離れるものの、きわめて専門的な知見が網羅されているため、実用的かつ学術的な総説としての性格を備えている。日本爬虫両棲類学会監修のもと、各分類群の専門家24名が解説文を担当しており、正確性が担保されている。種同定に役立つ検索表も掲載されており、今後の学術研究や保全に不可欠なものになるだろう。



『カルドウッチのパーソナリティ心理学：私たちがユニークにしているものは何か?』

中西 大輔 ほか 訳 ベルナルド・J・カルドウッチ 著 渡邊 芳之 ほか 監訳
福村出版 2021年10月10日 772ページ 14,300円(税込)

2018年に急逝したパーソナリティ心理学者ベルナルド・J・カルドウッチによる単著の概論書の全訳。古典的な研究史ではなく、研究の切り口という観点からパーソナリティ心理学を再構成した野心的な書である。中西の担当した第10章「進化的視点」では、進化心理学の観点からパーソナリティを捉えなおそうとしている。著者は進化心理学者ではないため、いくつか明確な誤りがあるが、訳注で詳しく解説することで全訳を行なっている。



『不平等の進化的起源：性差と差別の進化ゲーム』

中西 大輔 監訳 ケイリン・オコナー 著
大月書店 2021年11月15日 336ページ 2,860円(税込)

アメリカの哲学者ケイリン・オコナーによる The Origins of Unfairness: Social and Evolution の全訳。性別や人種、階級による差別がなぜ生じるのか、進化ゲーム理論によってその起源を解明しようと試みた本。著者は不平等な社会を一種の均衡状態として捉え、そうした不平等な慣習から抜け出すための方法について議論している。



『基礎栄養学—栄養生理化学—』

山内 有信 編著
三恵社 2021年11月12日 132ページ 1,980円(税込)

正常な生命活動を営むには、適正な栄養素摂取が不可欠です。栄養士・管理栄養士養成課程で学ぶ栄養学は、主に栄養素の体内利用を学ぶ『基礎栄養学』と、健康のために摂取すべき量とその概念を学ぶ『応用栄養学』に分けられ、本書はその前者です。なお、基礎栄養学は、栄養士・管理栄養士養成課程の様々な科目をつなぐ科目です。そこで、本書では、とくに密接な関係を持つ生化学や臨床栄養学、応用栄養学との接続を重視しています。

Event Guide

Hiroshima Shudo University

EVENT CALENDAR (1/11現在)	
2022	
1 January	1/25(火)~28(金) 学内個別企業説明会(オンライン開催) 1/31(月) 図書館整理休館日
2 February	2/ 1(火)~ 4(金) 図書館休館 2/ 7(月) 国家公務員採用試験制度説明会(オンライン開催) 2/ 9(水) 第9回就職ガイダンス配信開始 2/14(月)~16(水) 後期追試験(学部) 2/14(月)・15(火)・16(水)・17(木)・18(金)・21(月)・22(火)・24(木)・25(金) 学内合同企業説明会(オンライン開催) 2/14(月)~3/2(水) 中国・東北財経オンラインセミナー(春季) 2/17(木) 長期貸出図書返却日(卒業・修了年次生) 卒業・修了年次生成績発表 2/21(月)~3/4(金) オーストラリア・UOWプロジェクト型英語オンラインセミナー(春季) 2/25(金) 後期追試験成績発表(学部卒業年次生) 地域つながるプロジェクト2021・地域つながるスタートアッププロジェクト2021 活動報告会 図書館整理休館日
3 March	3/ 3(木)~ 9(水) 入学準備学習プログラム 第2回Webキャンパス学習Week 卒業年次生以外成績発表(WEB) 3/ 7(月) 卒業認定者・修了認定者発表 3/ 9(水) グローバルコース修了式 3/10(木)・11(金) Hiroshima Tour Guide Program 3/14(月)~18(金) 修大生のための数学セミナー 3/23(水) 学位授与式 3/24(木) 日本学生支援機構奨学金等新規募集開始 駐車場・駐輪場利用申請者手続開始 >>>GUIDE 在学生ガイダンス 地域つながるプロジェクト2022・地域つながるスタートアッププロジェクト2022 募集説明会 3/25(金) 新入生英語プレイズメントテスト・ガイダンス等 3/31(木) 図書館整理休館日
4 April	4/ 1(金) 入学式、学生センターガイダンス 4/ 1(金)~ 4(月) Web履修抽選科目エントリー 4/ 4(月)~ 8(金) 新入生ガイダンス・オリエンテーション 4/ 6(水)・ 7(木) 日本学生支援機構奨学金進学届提出説明会 新入生健康診断 4/ 8(金) 一人暮らしを始める新入生のための「新入生交流会」 4/ 8(金)・9(土) 履修申請 4/11(月) 前期授業開始 4/11(月)・12(火) 卒業年次生健康診断 4/13(水)・22(金) 地域つながるプロジェクト2022・地域つながるスタートアッププロジェクト2022 募集説明会 4/17(日) 長期貸出図書返却日(新2~4年次生) 4/27(水) 日本学生支援機構奨学金等募集締切



GUIDE

これからの入試日程

一般選抜(後期日程)は、全ての学部・学科・専攻に出願できる併願制です。1回の受験で最大13の学部・学科・専攻に出願できます。出願はインターネット出願「シュウダイレクト」でのみ受け付けます。

学 部
●2/16(水)~25(金) インターネット出願受付 (一般選抜(後期日程)、共通テスト利用選抜(後期日程))
●2/16(水)~24(木) 編入学・学士入試 (人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部) 出願受付(必着)
●3/ 4(金) 一般選抜(後期日程)・編入学・学士入試 (人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部)
●3/ 9(水) 合格発表 (一般選抜(後期日程)、共通テスト利用選抜(後期日程)、 編入学・学士入試(人文学部・法学部・経済科学部・人間環境学部))
大学院
●2/ 3(木)~10(木) 出願受付(必着)(第2次募集)
●2/19(土) 入学試験
●2/25(金) 合格発表
【問い合わせ先】入学センター Tel 082-830-1100

保健室より
この時期は、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行しやすい時です。日頃から疲れた時や体調不良の時は早めに休養をとるなどの自己管理に加え、外出先から帰ってきた時や食事前の流水での手洗い、うがい、マスクを着用するなどの予防に努めましょう。発熱、咳、鼻水、のどの痛み、腹痛、嘔吐、下痢などの症状がみられる時は早めに医療機関で受診してください。2月、3月の休暇中でもインフルエンザや新型コロナウイルスと診断されたら保健室まで報告してください。
新型コロナウイルスに感染した場合、感染経路の特定など過去の行動について確認する必要があります。普段より日々の体調および行動内容の記録をお願いします。
記録票は本学WEBサイトからダウンロードできます。
※健康診断の詳細は本学WEBサイトにてお知らせします。
必ず受診しましょう。
【問い合わせ先】保健室 Tel 082-830-1118

学生センターより
自動車・自転車・自動二輪(バイク・原付)に関して、一定条件を付して許可制度を設けており、学生が学内に乗り入れて駐車・駐輪する場合は、事前に学生センターに申請し、学長の許可を受けなければなりません。学生の交通マナーを向上させるため、講習の受講を義務づけており、所定の手続きを行った者に駐車許可証、駐輪ステッカーを発行しています。手続き方法については教学システム等を確認してください。なお、駐車許可証または駐輪ステッカーを取得して、学内駐車場・駐輪場を利用してください。
※許可証・ステッカーは年度毎に更新が必要ですので4月からも引き続き通学に使用する場合は、忘れずに更新しましょう。
【問い合わせ先】学生センター Tel 082-830-1117



1

3

2

アンケートにご協力ください。

「広報誌TRUTH」および「本学広報」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。
 いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。
 また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくはQRコードからWEB上にてご回答ください。
<https://forms.gle/Y91vDJurptBQpv9B6>



PRESENT

計20名



スポーツロゴマスク

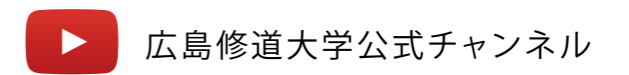
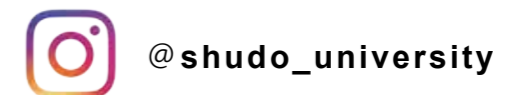
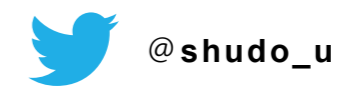


ココフセンカード

抽選で計20名様に「修大オリジナルグッズ」いずれか1点をプレゼント!
 応募締切:3月17日(木)
 ※プレゼントは選べません。
 ※当選者にはメールにてご連絡します。

広島修道大学公式SNS

各種SNSで修大の情報を発信しています。
 ぜひフォローをお願いします!



- ① iCafe 利用再開 (10/25～)
 10月25日より、協創館(8号館)1階「iCafe」の利用を再開しました。
 ハロウィンまでは、iCafe内にハロウィンの装飾を施しました。
- ② 修大祭を2年ぶり開催 (11/3)
 今年は新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、入場者を本学学生と教職員に限定して開催しました。「繋～いまこそ笑顔で～」のテーマのもと、クイズ大会、修大生ステージ、バンド演奏やダンスなどを行いました。屋台の代わりに縁日をひらいたり、お笑いライブやトークショーの企画など、制限のある中でも学生たちが工夫を重ね、修大祭の伝統を繋いでいきました。
- ③ 修大スポーツチャンプカーニバル開催 (11/13・14)
 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、学生会体育局主催の修大スポーツチャンプカーニバルを開催しました。